

【担当課：総務局人事部人事課】

議 題	令和6年度の人事評価結果等について
日 時	令和7年7月3日（木）10時00分～12時00分
場 所	市役所4階 総務局内会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与） 山中特別顧問 （職員等）総務局人事部 人事課長 人事課長代理 人事課担当係長
論 点	・ 令和6年度人事評価結果の報告について ・ 分限制度に係る適正化指導等の状況及び分限処分（分限休職）について ・ 外部人材の活用状況について ・ 管理職育成アセスメント研修の結果を踏まえた人材育成の課題への対応について ・ 国際人材の育成について
主 な 意 見	・ 人事考課において寛大化傾向にならないよう、絶対評価点において改めて厳格な運用を心掛けてほしい。 ・ 自所属の前年度の標準偏差について、各所属に個別でアナウンスするだけでなく、人事評価研修の場においても周知してほしい。 ・ 病気休職を繰り返す職員に対する対応策について、他都市状況も調査しながら、検討して行ってほしい。 ・ 課長昇任までの人材育成として、研修受講や前例のないプロジェクトの経験、民間企業への出向など、成長できるような機会を与えるべきである。 ・ 万博後の大阪市の発展を見据えて、国際人材の育成（国際職などの採用枠の創設）を本格的に検討して行ってほしい。
結 論	・ いただいたご意見も参考にしながら、人事考課制度の運用状況を注視していくとともに、あらゆる機会を通じて制度の適正化に向けた周知を行っていく。 ・ また、国際人材の育成に向けた取組についても検討していく。

資 料	
関 係 所 属	総務局